

## 幹事

三 沢 大 介

今年度のクラブテーマは『新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう』です。会員一人一人がロータリーの価値を考え、楽しく活動を展開できるようにスムーズなクラブ運営に努めてまいります。

4年ぶりに行動制限のない中でのロータリー活動になります。歴史と伝統ある山形西ロータリークラブの幹事として、気配りと思いやりのある対応を心がけ、1年間全力で取り組みます。皆様のご協力とご指導宜しくお願いいたします。

## 会計

会 計 原 田 久 雄 副会計 山 科 宏 幸

会員の皆様からお預かりする会費を大切に管理し、今年度のクラブ方針に基づき予算配分を行い、諸活動に支障なきよう円滑且つ適正に処理をさせていただきます。

また、会員の皆様には下記の点について、ご理解とご協力の程お願いします。

1. 会費の納入につきましては、納入期限を厳守願います。  
前期分 令和5年7月31日  
後期分 令和6年1月31日
2. 支払請求につきましては、請求書又は領収証を幹事宛に提出願います。
3. 支払実行につきましては、原則として月末締め、翌月10日頃の支払いとさせていただきますのでご了承願います。
4. 今年度は、物価高の影響による会場費等の値上げやコロナ禍で実行できなかった事業活動が目白押しですので、改めて予算内での事業遂行に努めていただきますようお願い申し上げます。

# S.A.A.

S. A. A.	新 藤 幸 紀	副S. A. A.	平 田 智 則
副S. A. A.	尾 形 亨	副S. A. A.	齋 藤 豪
副S. A. A.	高 橋 昌 之	副S. A. A.	大 城 誠 司
副S. A. A.	武 田 秀 和		

長澤裕二会長が掲げた『新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう』というクラブテーマに沿って例会を担当して参ります。

メンバーにはベテラン会員もおりますので、その豊富な経験を生かして楽しい例会になるように、また会員相互の親睦に繋がるようにS.A.A.一同務めてまいります。

# クラブ管理運営常任委員会

理事・常任委員長 五十嵐 信

今年度の長澤会長のクラブテーマである「新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう」に沿って委員会の運営を進めてまいります。

ここ数年は、やりたくてもできないことがたくさんありました。

本格的に社会が再始動することにあわせて、会員の知恵と力を結集して、思い切った事業を展開してまいります。

参加してよかった、という事業の集合体にしてまいりますので、会員のみなさまのご協力をよろしく申し上げます。

## 出席委員会

委員長	服部	正	委員	鏡	武利
副委員長	半田	稔	委員	岡崎	重知
			委員	中村	喜陽

例会出席はロータリー活動の根幹ですので会長方針の下、通常例会を基本と考えメイク後の出席率を95%目標にします。また今年は記念すべき3000回の例会が行われる年でもございますので3000回のクリスマス家族例会まで100%出席例会を

- 7月24日 第2986回例会（ガバナー公式訪問）
- 10月1日 第2993回変更例会（最上川清掃活動）
- 12月4日 第2999回例会（年次総会）

の3回とさせて頂き、会員より積極的に参加呼びかけを行い、レターボックスに資料が溜まりすぎないように努めます。また他の会員の皆様よりお声がけをお願いする事もあるかと思いますが合わせてご協力を頂ければありがたく存じます。

## 親睦・家族委員会

委員長	後藤章洋	委員	横山隆太
副委員長	高橋順弘	委員	三浦達一
		委員	福塚一
		委員	勝部一
		委員	池田将友
		委員	大場竜
		委員	向田也
		委員	小野史

会員とご家族の親睦がしっかり深まるイベントを企画致します。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| ① 会員並びに奥様誕生日紹介       | 毎月第一例会              |
| ② お誕生日プレゼントの配布       | ギフトカタログよりお選びいただきます。 |
| ③ ビアパーティー            | 7月10日 グランドホテル       |
| ④ クリスマス家族例会（3000回記念） | 12月18日 パレスグランデール    |
| ⑤ 新年会                | 1月15日 四山楼           |
| ⑥ 観桜会                | 4月8日 亀松閣            |
| ⑦ 最終例会               | 6月24日 パレスグランデール     |

## プログラム委員会

委員長 長谷川 浩一郎 委員 長岡 勲  
副委員長 富田 浩志 委員 横沢 善則  
委員 小山 陽

ロータリーの目的は、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」であります。

その目的を達成するための具体的な方策として「知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること」が奨励されており、毎週開催される「例会」は、その中心的な役割を持つ重要な事業・機会であり、まさにロータリー活動の根幹であると考えます。

当委員会としては、その例会の内容を一層充実させることにより、会員各位が継続的に関心と期待感を抱き、そして積極的に例会に出席いただけるようなプログラムを実施できるよう努めてまいります。

具体的には、ゲスト卓話、会員卓話、地区委員会講師卓話、移動例会と、多種多様な企画を織り交ぜ、そしてタイムリーでテーマに沿った魅力ある講師を選定し、一年間の例会プログラムを構築いたします。特に今年度は、例年以上に「若手」や「女性」という観点からプログラム内容を模索・計画してまいります。

また、近隣クラブと協力し、地域社会の人々にロータリーを知っていただくための「ロータリーデー」の開催も、当委員会として重要な担いです。今年度は、「ロータリー奉仕デー」と称し、2800地区と連携を図りながら、10月1日に最上川清掃活動を実施いたします。地域に奉仕し、愛する山形の自然を守るプログラムとして、会員の皆様の尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

## 友好クラブ委員会

委員長 海和 浩運 委員 佐藤 茂雄  
副委員長 渡辺 隆博 委員 佐藤 充昭

クラブ方針『新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう』の言葉どおり、友好クラブ・姉妹クラブとの親睦がより深まるよう、また会員家族も楽しめるような活動を行います。

具体的に次の事業を行います。

1. 友好クラブである高知南ロータリークラブ歓迎例会の開催  
2024年3月8日（金）予定
2. 姉妹クラブである山辺・中山ロータリークラブとの合同例会開催

# 会員増強常任委員会

理事・常任委員長 遠藤靖彦

今年度、佐藤章夫委員長の職業分類・会員選考委員会、菅原茂秋委員長の会員増強委員会、遠藤正明委員長のロータリー情報委員会を担当させていただきます。委員長の皆様は会長、幹事の経験者であり大変心強い方々です。西ロータリークラブの力のひとつが県内最大のメンバーがいるクラブであることだと思います。

100人を超える会員数を維持できるよう皆様の協力をあおぎながら、3委員会協力して活動出来るようにして行きたいと考えています。また、入会の若い会員の皆様にも早く慣れていただきアクティブな活動ができるよう、対応していききたいと思います。

## 職業分類・会員選考委員会

委員長 佐藤章夫 委員 市村清勝  
副委員長 東海林健登

西ロータリークラブは会員数100余りを数え県内最大規模のクラブです。

会員の年齢層も労・壮・青と幅広く、職種もほぼ全種がそろって全体的にバランスがとれているのが特長です。

コロナ禍を経て社会構造が変化しており新たな業種、業態、経営態が出現してきました。従って

1. 既成職業分類の見直しと細分化
2. 経済環境の変化、就業の多様化に伴う職業の位置づけを検討しながら職業種別の追加、整理を行います。

新しい仲間を増やし、より大きな力強い効果的な奉仕活動ができるクラブになるよう努めたいと思います。

## 会員増強委員会

委員長 菅原茂秋 委員 遠藤栄次郎  
副委員長 鈴木浩司 委員 橋本徳光  
委員 佐藤信勝

地区重点事項である、「ロータリーを語り合い楽しむ仲間を増やそう」の考え方をもとに、会員、特に入会歴の浅い会員や暫く参加のない会員への参加呼びかけ等を実施し、退会防止に取り組めます。また、会長方針に従い102名の会員数を維持しながら、さらに1名の純増に取り組めます。会員の皆様からのご紹介等いただきながら訪問勧誘活動等も行っておりますのでご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## ロータリー情報委員会

委員長 遠藤正明 委員 安部弘行  
副委員長 武田岳彦

この委員会は、クラブテーマ『新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう』を、実行していく委員会です。

今年度は、以下の3つを委員会任務とします。

1. 新会員・西山会を対象にしたファイヤーサイドミーティングを開催し、ロータリー活動の理解を深めて貰えるように様々な情報を提供しサポートしていきます。
2. 出席ゼロの会員に対して、スポンサーを通しての例会出席・情報の発信を行います。
3. クラブ会員に対して、有益な情報提供とMyRotaryへの登録、地区公式LINEへの登録を推奨します。

# クラブ広報常任委員会

理事・常任委員長 浦山 潔

(会報委員会)

本クラブの活動の正確な記録を残す事と、ロータリー情報やいろいろな活動情報・報告など楽しく読んでもらえる会報を期待します。

(広報雑誌委員会)

「ロータリーの友」に関心を持ってもらえるよう記事の紹介や活動の投稿をしていただく。一般の方々にロータリークラブについての情報をメディアを利用した広報活動も大切な役割です。

(史料管理委員会)

前任者との引継ぎを行い、来る70周年、又将来に向けての史料を確認・整理・保存・管理をお願いします。

クラブ広報常任委員会の3委員会は、本クラブの一年間の活動をしっかりと支える大切な委員会です。親睦を促進し楽しく活動しましょう。

## 会報委員会

委員長	及川善大	委員	鈴木謙司
副委員長	坂部登	委員	伊藤歩
		委員	八柳祐二

会報委員会は、行われた例会の記録を取り纏め、次回例会までに会報として印刷して配付する役割を担っており、今後に残る資料を作成する意味でも、重要な立場であると認識しております。

会長挨拶や卓話などは可能な限り省略せずに掲載するとともに、適宜写真も活用して、例会の様子がしっかりと伝わるように心がけたいと思います。

会員の皆様におかれましては、会報に目を通していただき、内容について随時ご意見をいただければ幸甚でございます。



## 広報雑誌委員会

委員長 遠藤直樹 委員 大貫良一  
副委員長 吉田福平 委員 荒井敏夫

- ・「ロータリーの友」「ガバナー月信」の見どころや西クラブの記事、会員の投稿等を例会にて紹介します。
- ・会報委員会とも連携し、ホームページが更新された際にはその都度例会で紹介します。
- ・西クラブの活動を一般の方々に知ってもらうため、メディアへの取材依頼やメディア、SNS担当者への情報を提供します。

## 史料管理委員会

委員長 佐竹耀光 委員 柴田健一  
副委員長 小林恵一 委員 岡田宏道

70周年に向けて、史料を整理・保存を行ないます。

# 職業奉仕常任委員会

理事・常任委員長 西谷真一

ロータリーの大きな柱である職業奉仕

職業は様々なれど、常に高い倫理観を保ち活動をして行きたいと思います。

日々の生業に励み、専門的なスキルを持って社会に貢献できるよう見識を広め、様々な交流を深めて参りたいと思います。

## 職業奉仕委員会

委員長	佐藤 淳	委員	石山 茂利
副委員長	鈴木 隆一	委員	酒井 政輔
		委員	堀野 卓美

職業奉仕委員会は、職業奉仕こそがロータリーであり、職業人としてのロータリアンの務めであることを会員一人一人が理解し、深め合い、実践できるよう進めて参ります。

1. 常に挑戦し、業務改善や新規事業推進などに取り組んでいる職場、若い社員が活躍している職場などを訪問し、事例を共有できる職場訪問例会を開催します。
2. 球風会や西風会、写楽クラブ、茶道同好会などの職業交流の場をサポートします。

# 職業交流委員会

委員長	小野木 健 治	委員	浦 口 太 門
副委員長	庄 司 時 雄	委員	八 鍬 建 三
		委員	菅 原 章 由
		委員	近 藤 和 幸

職業交流委員会は、会員相互の交流を深めていただく事を目的に下記日程にて球風会、西風会、写楽会、茶遊会の企画運営、サポートをいたします。

また、7RC親善ゴルフへの多数の参加をおよびサポートを行います。

多くの方の交流を通して会の発展と活性化を図ります。

1. 2023年9月23日（土） 球風会ゴルフコンペ 蔵王CC
2. 2023年10月29日（日） 7RC親善ゴルフコンペ 蔵王CC
3. 2024年2月～3月 西風会を予定しております。
4. 2024年5月12日（日） 球風会ゴルフコンペ 山形GC
5. 写楽会、茶遊会の企画運営をサポートいたします。

# 奉仕プロジェクト常任委員会

理事・常任委員長 戸田正宏

ロータリークラブ活動の中核を担う社会奉仕の役割は社会から注目されています。地域社会にどのような奉仕活動が出来るのか、皆で検討しながら推し進めたいと思います。とりわけ、山形県民共通の観光資源である蔵王樹氷の再生に取り組んでみたいと思います。ご協力をよろしく申し上げます。

## 社会奉仕委員会

委員長	高嶋俊幸	委員	早川徹
副委員長	武田元裕	委員	小松公博
		委員	小林廣之

社会奉仕委員会は、「地域に住む人及び他国に住む人々の生活の質を高めるためのプログラムやプロジェクトを提案し、実践することを目的とする」と、当クラブ細則に明記されています。

今年度の社会奉仕委員会は、長澤会長のクラブ運営方針の提案に沿いながら、これまで当クラブが推進してきた「樹氷再生」への活動をより具体的に実践していくためのプログラムやプロジェクトの提案を行っていきます。

「アオモリトドマツ再生に向けた苗木育成畑の開墾と維持管理支援」と致しまして、RID2800地区の地区補助金を活用し、蔵王のシンボルであり、山形の貴重な観光資源である「樹氷」の再生に向けて、林野庁や山形県と連携しながら、当クラブとしてできる活動の第一歩を踏み出していきたいと考えております。

## ニコニコボックス委員会

委員長 角 田 健 委 員 長谷川 浩 二  
副委員長 武 田 博 文 委 員 東海林 仁  
委 員 後 藤 吉 伸

現在の例会開催前の手書きによるニコニコの書き込みのほか、事務局の例会出欠確認のグーグルフォーム内にニコニコボックスの項目を設け、当日手書きで記入する手間を少なくする試みを実施します。フォームへの記入情報は、返信用のメールアドレスへ返信されるように計画いたします。

ニコニコの小さなヨロコビを大勢のクラブメンバーみんなで共有し、奉仕活動に役立てる主旨であることをあらためて理解していただき、会員全員が最低1回以上ニコニコしていただけるように計画いたします。

## 青少年委員会

委員長 佐 藤 英 一 委 員 細 谷 伸 夫  
副委員長 結 城 和 生 委 員 大 沼 俊 彦  
委 員 角 田 浩 二 郎

会長方針に則り、毎年青少年育成事業の一環として行っている山形県東南村山地区中学・高校生英語弁論大会への支援を継続します。

また、2023-2024年度では、全国ローターアクト研修会と国際ロータリー日本青少年交換研究会が山形で開催される予定です。私が当年度の青少年委員会の委員長に任命頂いた理由を深読みせず、当クラブとして貢献できるものが無いか検討していきます。

# ロータリー財団・米山奨学会常任委員会

理事・常任委員長 中山 眞一

ゴードンR.マッキンリーRI会長のビジョンは、「ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界で良いことをしたいと願うすべての人がそれぞれに合った方法で、どこでも参加できるロータリーとなること」と話し、ロータリー財団は「ロータリーの奉仕を動かす燃料」であるとも述べておられます。

財団プログラムの一つには、ポリオ根絶活動があります。

野生型ポリオウイルスが常在するのは、パキスタン、アフガニスタンの2カ国のみなのですが、アメリカでポリオ患者が出ており、イギリスでは下水からポリオウイルスが検知されたそうです。ポリオは、ポリオウイルスによる感染症で人に感染します。

ポリオ根絶活動は、今まで以上に重要性が増してきております。ポリオがなくなっている国での感染を抑止する為にもロータリー財団を支援しましょう。

米山記念奨学事業は、国内最大規模の民間国際奨学団体として、主に東南アジアからの私費留学生に奨学金を支給し支援している世界に誇る日本のロータリーの国際奉仕事業です。当クラブは、米山奨学生の世話クラブであります。留学生には、将来山形に永住して山形西RCに入会するような方になってほしいという期待もあります。

長澤会長の方針に従い

ロータリー財団寄付目標 一会員 年間150ドル

米山奨学会寄付目標 一会員 年間15,000円

の達成に努力してまいります。

長澤会長の2023-2024年度テーマ実現のためにも、米山月間及びロータリー財団月間には、新会員にも理解を深めて頂ける内容での卓話を予定しております。

会員の皆様のさらなるご理解とご支援をお願い致します。

## ロータリー財団委員会

委員長 佐藤 啓 委員 高橋 勝治  
副委員長 武田 周治 委員 平吹 和之  
委員 吉田 昌弘

ロータリー財団は、100年前より世界中の教育支援や持続可能なプロジェクトに資金を提供してきました。ポリオ撲滅運動や奨学生派遣など、コロナ禍においても活動を止める事なく災害補助金を授与し、多大なる貢献をしてきました。

ロータリー財団委員会では、この様な取り組みを始め、様々な補助事業を会員の皆様に紹介し、事業への理解を深めていただき、寄付の促進、目標額の達成に向けて取り組んでまいります。

また、ロータリー財団月間の例会卓話にゲストスピーカーをお招きし、財団の使命や取り組みについて理解していただける様に努めてまいります。

\*2800地区の目標 年間一人当たり150ドルです。

会員の皆さんには一人100ドルの特別寄付へのご協力をお願い申し上げます。

ロータリー財団月間である11月に卓話例会を実施予定です。

## 米山奨学会委員会

委員長 芦野 茂 委員 伊藤 義彦  
副委員長 酒巻 雅樹 委員 清野 伸昭  
委員 飯田 喬之

米山奨学事業は、1952年、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した米山梅吉の功績を記念して、東京ロータリークラブで発足されました。この事業はやがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。米山奨学会は、奨学金による経済的支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特徴です。今年度も世話クラブとしてジョン・チャンビンさん（山形大学 韓国出身）をお招き致しました。カウンセラーは横沢さんよりお世話を頂く事になりました。また、米山学友会よりデン・ウデンさん（東北公益文科大学 中国出身）を山形西クラブ独自としてお世話頂きます。米山学友会学生をクラブ独自で支援するのはRI2800地区では初めての事業になります。この事業の国際奉仕そして青少年奉仕としての意義をクラブの皆様より認知してもらいたいと思っております。より広範囲に奨学生・学友会学生の受入先を募りたいものです。

また、「米山奨学委員会」には、寄付増進という任務も付随しますので、その対応もお願い申し上げます。今年度も一人15,000円を目標として特別寄付10,000円をお願い申し上げます。